

‘19 年 栄区民芸術祭『囲碁まつり』

【報告 I】



栄区文化協会 小華和会長

令和元年 11 月 3 日（日・文化の日）会場を、文化協会の都合で「本郷地区センター」に移し開催。栄区文化協会々長小華和絃記氏の臨席も頂き、100 名を超える大会となった。

日本棋院より熊丰（ユウホウ）七段と兆乾（チョウチェン）二段を招き大盤解説、指導碁などフル回転で、栄区囲碁ファンは楽しい一日を過ごした。



会場：「本郷地区センター」

『個人戦』は「クラス別 3 回戦」を実施。A クラス（四段以上）27 名、B クラス（三、二段）34 名、C クラス（初段）14 名、D クラス（1-9 級）19 名、計 94 名が、通常の大会と違って“なごやかな”雰囲気の中で対局を楽しんでいたようだ。

【全勝者】

A クラス；正田俱基八段、重光直明六段、三間修司六段

B クラス：小原賢二三段、今澤真也二段、鈴木悦四二段

C クラス：田島芳伸初段、福田光雄初段

D クラス：梶田蒼空 2 級、合田英二 5 級

敢闘賞：村上明日香 4 級、小関真悟 5 級

（敢闘賞は、高校生以下で 2 勝を挙げたもの）



大集会室

本郷地区センターでの「囲碁まつり」開催は初めてで、個人戦は大集会室と会議室（2F）に分かれ実施し、熊プロ及び兆プロによる指導碁は 1F 会議室に於いて行った。



2F 会議室



あの人もこの人も若い！元氣！、そして強い！



豆棋士の成長は早い！「D クラス・1-9 級」で子どもたちの活躍が話題を呼んだ



“お祭り”とはいえ、あちらこちらで“女性パワー”がさく裂！

'19年 栄区民芸術祭『囲碁まつり』

【報告Ⅱ】



熊 七段

『囲碁まつり』恒例となったプロ棋士による指導碁と大盤解説は大変な人気で、特に指導碁を受ける抽選には多くのファンが集まった。

日本棋院より招いた熊丰（ユウホウ）七段と兆乾（チョウチェン）二段は、指導碁及び大盤解説にフル回転で、栄区囲碁ファンは楽しい一日を過ごした。



兆 乾 二段

『指導碁』

「五面打ち」を午前と午後、5人ずつ計20人が幸運をゲット！80分間にわたり、心行くまで指導を受けた。熊プロは「真剣モード」兆プロは「和気藹々モード」であったとか・・・。



熊プロには高段者が多く、皆さんじっくり挑戦した様子。「打掛」でのワンポイント指導を熱心に受けていた。兆プロは、対局中でのアドバイスを優しく行い、サインの要求にも快く対応してくれ、人気益々上昇・・・。

『大盤解説』

個人戦・1回戦「肥塚淳次六段（黒）vs 杉本隆洋六段」の棋譜を採らせて貰い、両プロに解説して頂いた。途中＜黒41手目＞が「次の一手クイズ」として出題され（4択）、投票総数67票中正解者は実に36票に昇り、賞品を貰ってにっこり。



対局中の杉本六段（左）と肥塚六段

熊プロも高く評価した、内容の濃い戦いが展開され、肥塚六段の「10目半」勝ちで終局した。

肥塚六段のコメント

杉本六段が珍しく星に打たれたのですぐに＜三三＞に入るという、今はやりの「AI碁」になりました。公式戦では初めての経験でしたが大変有意義な対局ができました。熊プロの解説も大変勉強になりました。



「一手クイズ」出題場面



両プロと有志による懇親会



気さくな両プロと囲碁談義